

大田区 文化に関する意識調査 報告書

概要版

令和7年3月

大田区

文化に関する意識調査 報告書

令和7年3月発行

発行 大田区 スポーツ・文化・国際都市部 文化振興課
〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号
電話／FAX 03-5744-1226／03-5744-1539

調査概要

■目的

次期大田区文化振興プランの策定に向けた基礎資料とするため、大田区民及び区内の文化関係団体を対象にした文化に関する意識調査を実施し、文化・芸術施策や文化施策に対するニーズを把握する。

■実施した調査と対象

（１）個人向け調査

- 大田区に住民登録がある満18歳以上の2,900人を無作為に抽出
- 回収率：41.0%（回収数1,189件）
- 調査期間：令和6年11月29日（金）～令和7年1月8日（水）
- 調査方法：郵便にて発送、郵便及びWEBによる回収

（２）団体向け調査

- 大田区に団体登録をしている100団体を無作為に抽出
- 回収率：79.0%（回収数79件）
- 調査期間：令和6年11月29日（金）～令和7年1月8日（水）
- 調査方法：郵便にて発送、郵便及びWEBによる回収

■回答者内訳

（１）個人向け調査

- 男性が42.7%で、女性が55.6%です。
- 70歳以上が約3割と多く、年代が低くなるにつれて少なくなっています。

項目	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体 (1,189人)	8.7%	11.3%	13.2%	16.5%	19.0%	31.0%	0.4%
男性 (508人)	7.9%	10.0%	12.6%	15.9%	19.7%	33.9%	0.0%
女性 (661人)	9.4%	12.4%	13.3%	16.6%	18.9%	29.2%	0.2%

（２）団体向け調査

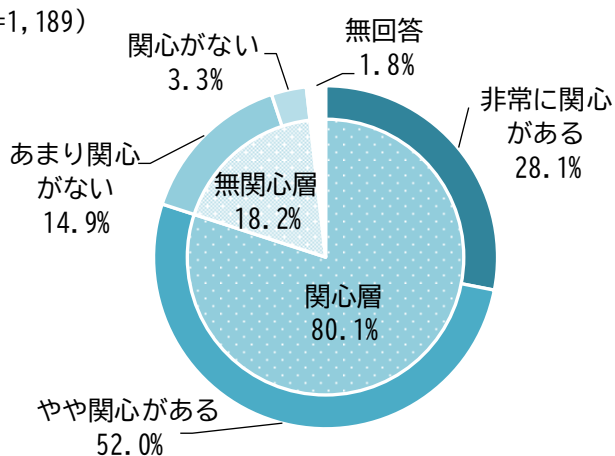
- 団体の主な活動分野としては「生活文化」が25.3%、「合唱、歌唱」が11.4%、「美術」が8.9%です。
- 活動拠点は、「大森地域」が32.9%、「調布地域」が26.6%、「蒲田地域」が22.8%、「糀谷・羽田地域」が7.6%となっています。
- 活動年数は10年以上が78.4%を占めています。
- 団体の活動している人数は、「10人以上、30人未満」が49.4%、「5人以上、10人未満」が29.1%です。

個人向け調査

■文化・芸術に対する関心

文化・芸術に関心のある人 80.1%

(N=1,189)

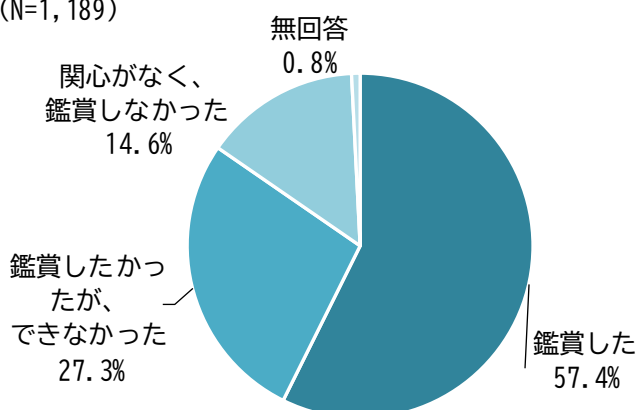


- 文化・芸術に関心のある人は80.1%です。性別で見ると、女性は86.2%、男性は72.4%と差があります。
- 関心のある分野としては、「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」と「映像(映画、アニメーションなど)」が約5割と多くなっています。

■文化・芸術の鑑賞

過去1年間で文化・芸術を鑑賞した人 57.4%

(N=1,189)

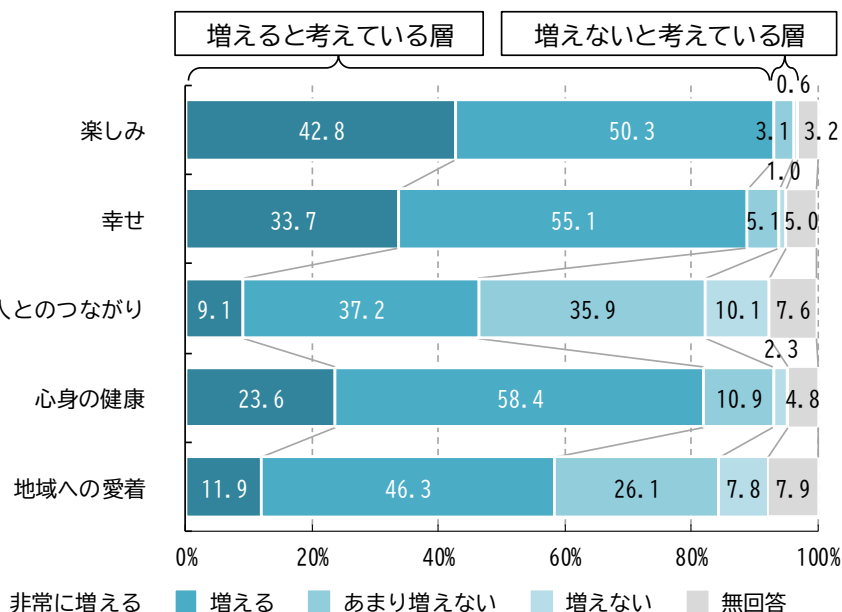


- 過去1年間に文化施設で文化・芸術を鑑賞したことのある人は57.4%です。性別で見ると、鑑賞したことのある人は、男性が48.0%に対し、女性は64.4%と高くなっています。
- 過去1年間で区立の文化施設で鑑賞した人は48.4%で、区内にある民間の文化施設・場所で鑑賞している人は9.4%、区外の文化施設・場所で鑑賞している人は73.3%と区内よりも区外で鑑賞している人の方が多くなっています。

鑑賞による影響

- 文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることによる「楽しみ」、「幸せ」、「地域や人とのつながり」、「心身の健康」、「地域への愛着」の影響について、増えると考えている層は「楽しみ」が93.1%で最も多く、次いで「幸せ」が88.8%、「心身の健康」が82.0%、「地域への愛着」が58.2%となっています。「地域や人とのつながり」は46.3%と増えないと考えている層と同程度となりました。

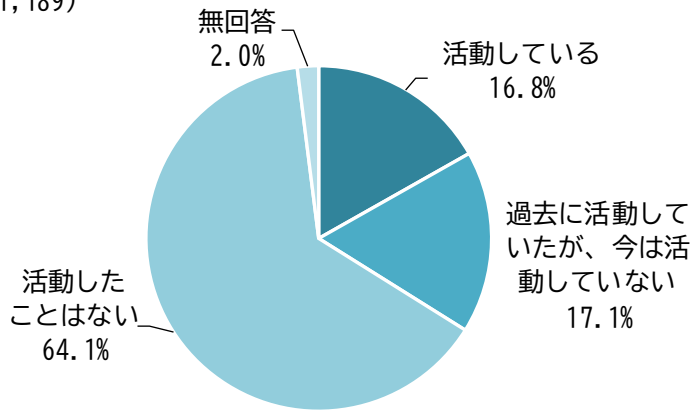
(N=682)



■文化・芸術に関する活動

文化・芸術に関する活動をしている人 16.8%

(N=1,189)

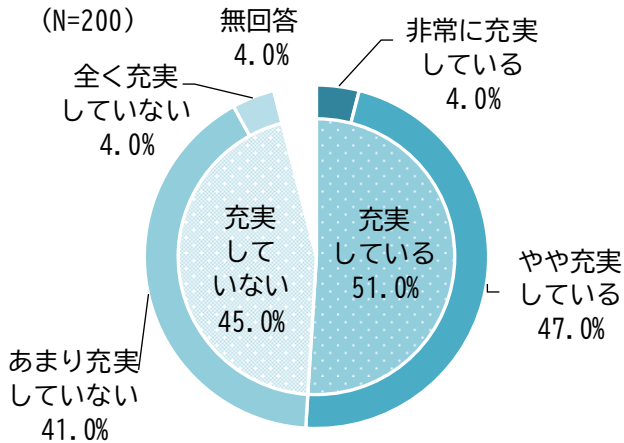


●文化・芸術に関する活動を行っている人は16.8%です。過去に活動していたが、今は活動していない人は17.1%で、合わせると、33.9%の人が文化・芸術に関する活動を行ったことがあります。

●活動している人の分野としては、「美術」が23.0%で最も多く、次いで「ポピュラー音楽・歌謡曲、ジャズ、ロック」が17.0%、「写真」と「生活文化」が16.0%となっています。

練習や発表などの場所や機会が充実している人 51.0%

(N=200)

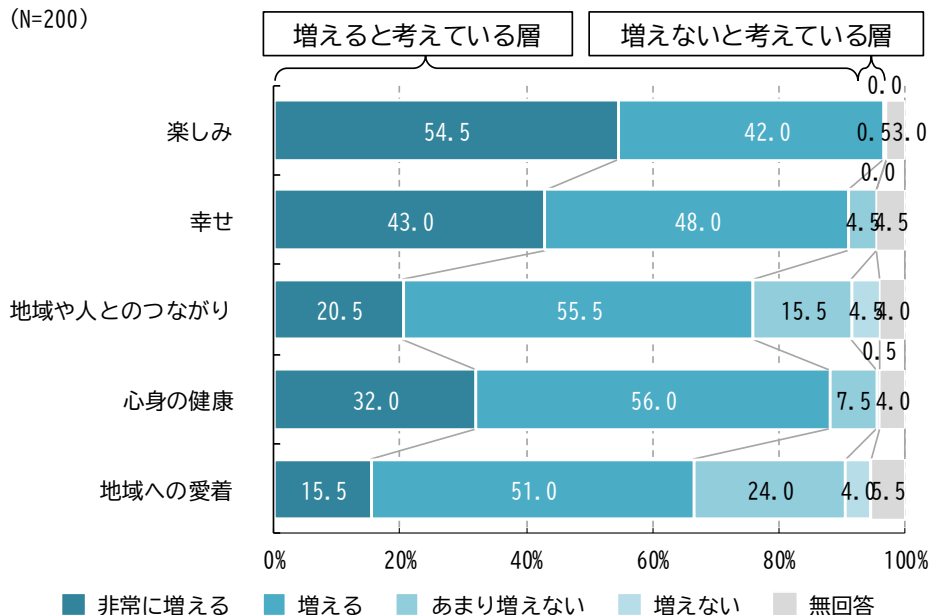


●文化・芸術に関する活動をしている人のうち、練習や発表などの場所や機会について、充実していると回答した層は51.0%となっています。

文化・芸術に関する活動による影響

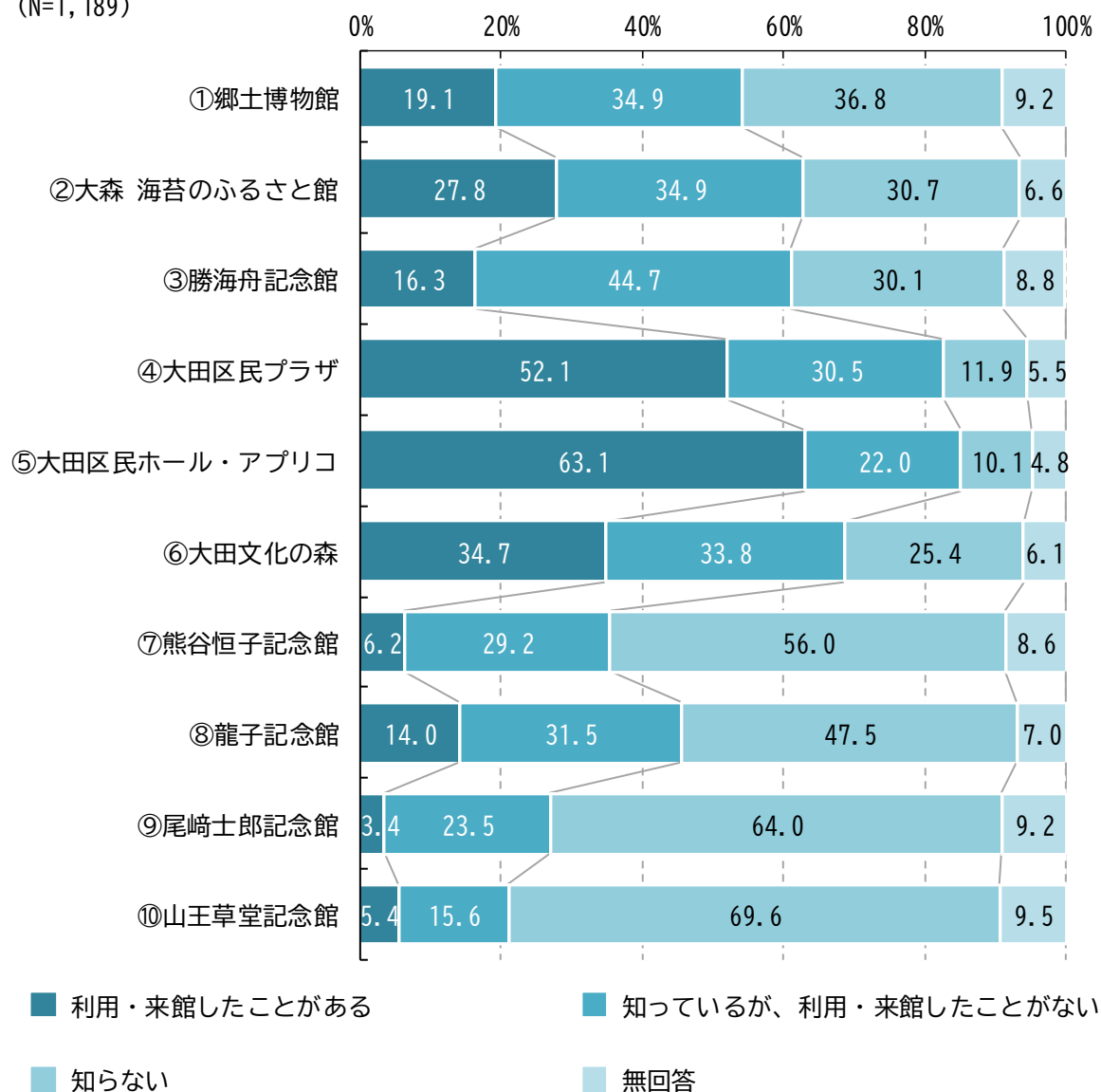
●文化・芸術活動による「楽しみ」、「幸せ」、「地域や人とのつながり」、「心身の健康」、「地域への愛着」の影響について、増えると考えている層は「楽しみ」が96.5%で最も多く、次いで「幸せ」が91.0%、「心身の健康」が88.0%、「地域や人とのつながり」が76.0%、「地域への愛着」が66.5%となっています。文化・芸術や地域の歴史・文化財に触れることによる影響と比べて、「地域や人とのつながり」が高くなっています。

(N=200)



大田区民ホール・アプリコを知っている人 85.1%

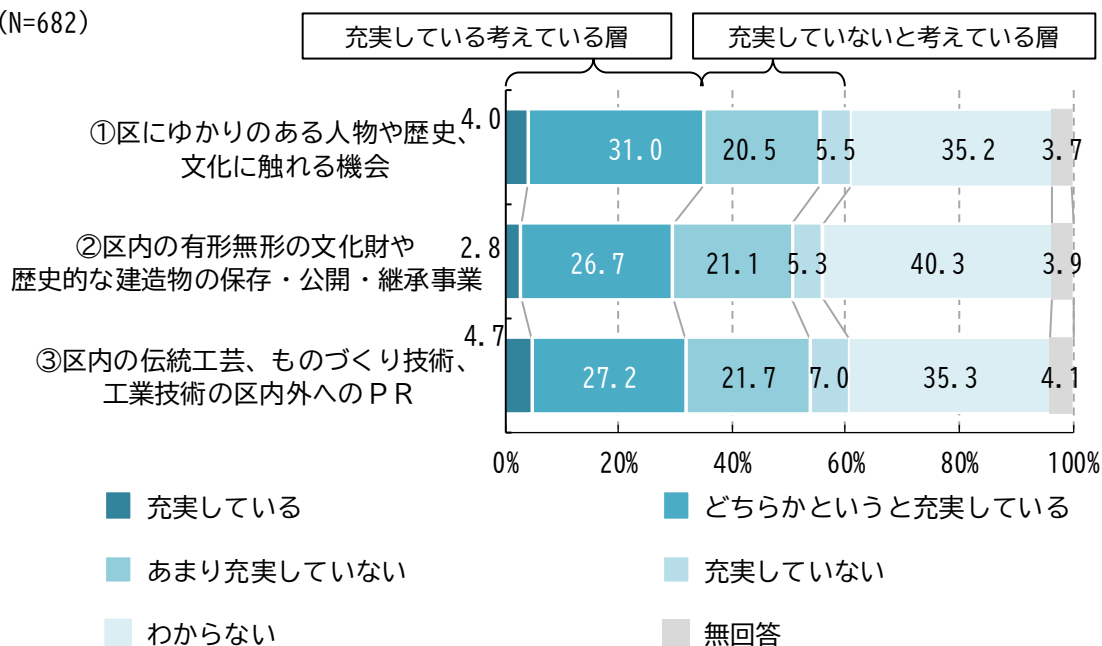
(N=1,189)



- 大森 海苔のふるさと館、勝海舟記念館、大田区民プラザ、大田区民ホール・アプリコ、大田文化の森は6割を上回る人から認知されており、大田区民ホール・アプリコは「利用・来館したことがある」人が63.1%と高くなっています。
- 年代別にみると、いずれの施設も、年代が低くなるほど「知らない」の割合が高くなる傾向にあります。一方で、熊谷恒子記念館、尾崎士郎記念館、山王草堂記念館はいずれも、「利用・来館したことがある」人が1割未満となっています。

地域の様々な文化を保存・継承し、区の魅力として発信する取り組みの充実度

(N=682)



●全体の意見では「わからない」が最も多くなっています。一方で、文化・芸術の鑑賞している人、さらに活動している人の回答を見ると、充実していると回答した層の割合が高くなる傾向にあります。

こどもが文化・芸術に触れる機会が重要視されている

【文化・芸術を振興していくために、あなたが特に重要だと思うもの】

(N=1,189)

●区が文化・芸術を振興していくために特に重要だと思うこととして、「こどもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出」が52.6%、次いで「区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充」が48.1%、「文化拠点施設を通じて、多様な文化活動の担い手をコーディネートする文化活動の場を広く区民に提供」が36.9%となっています。年代別にみると、30歳代、40歳代で「こどもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出」が高くなっています。

こどもが良質な芸術に触れ、学ぶ機会の創出

区民が幅広いジャンルの良質な文化・芸術に触れる機会の拡充
文化拠点施設を通じて、文化活動の場を広く区民に提供
地域の文化・芸術の育成と展示等による区民への発信
文化の持つ力を教育や福祉など様々な分野への活用

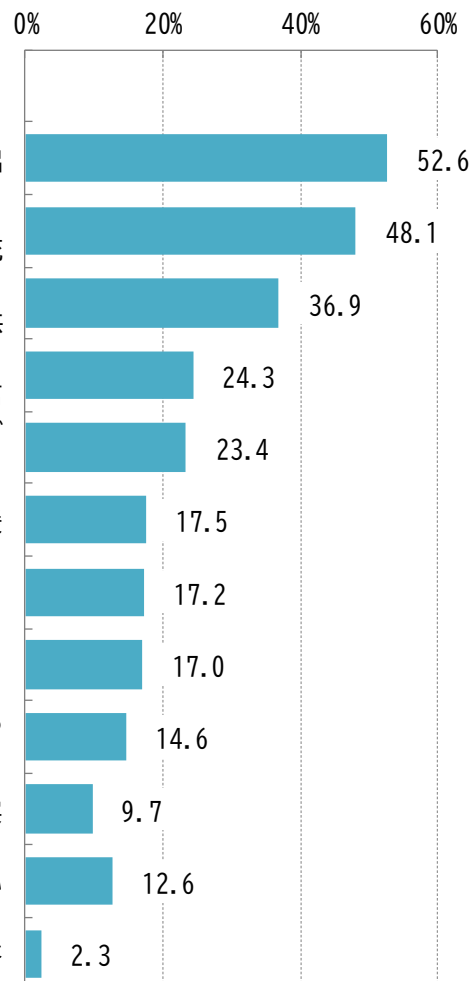
区民の自主的な文化活動の積極的な支援

専門人材の育成・確保
様々な団体とのネットワークの構築と区内文化団体の情報収集・発信
地域文化資源の保全・活用、潜在的な地域文化資源の掘り起こし

文化活動に関する相談窓口の充実

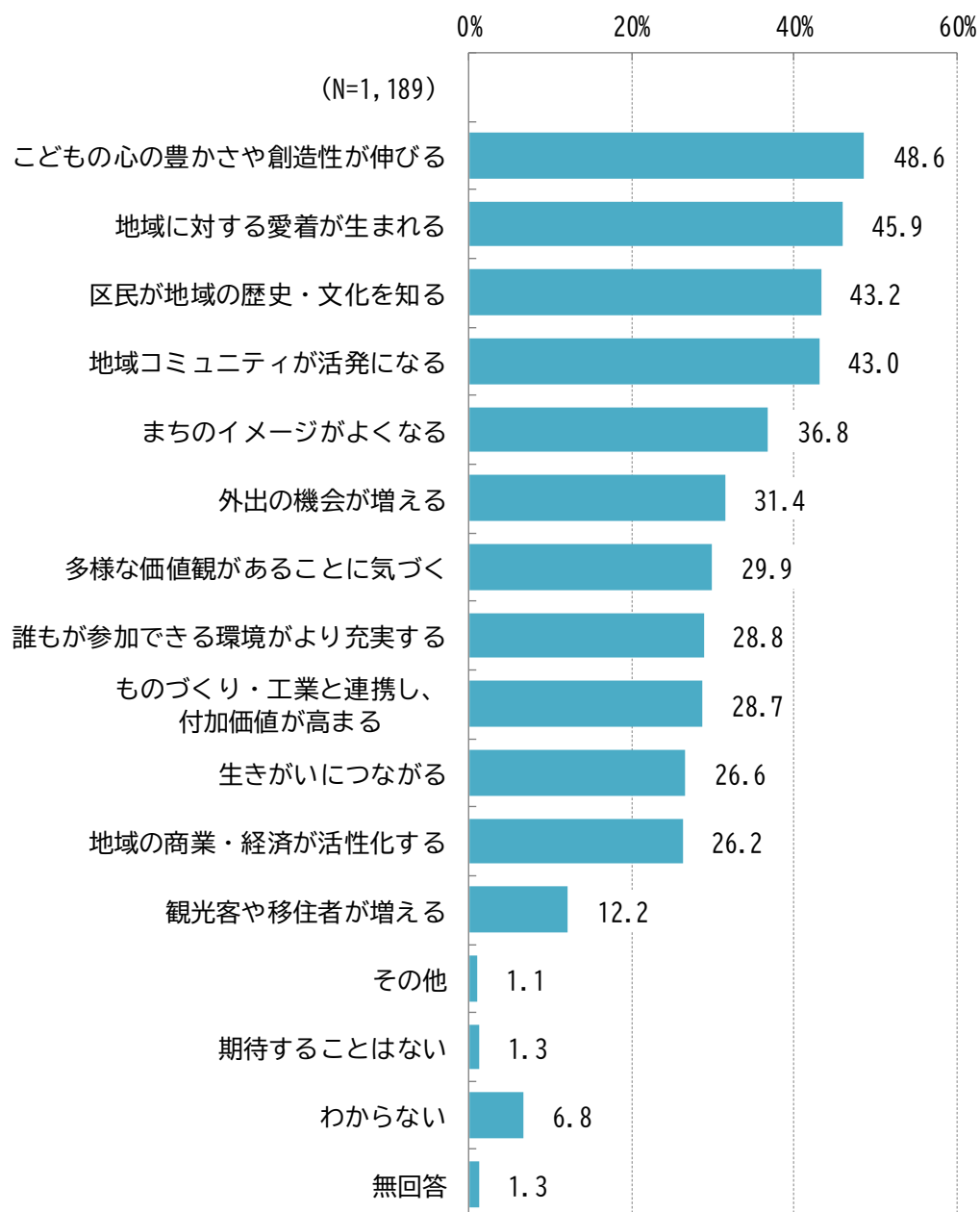
わからない

無回答



こどもの心の豊かさや創造性が伸びることが期待されている

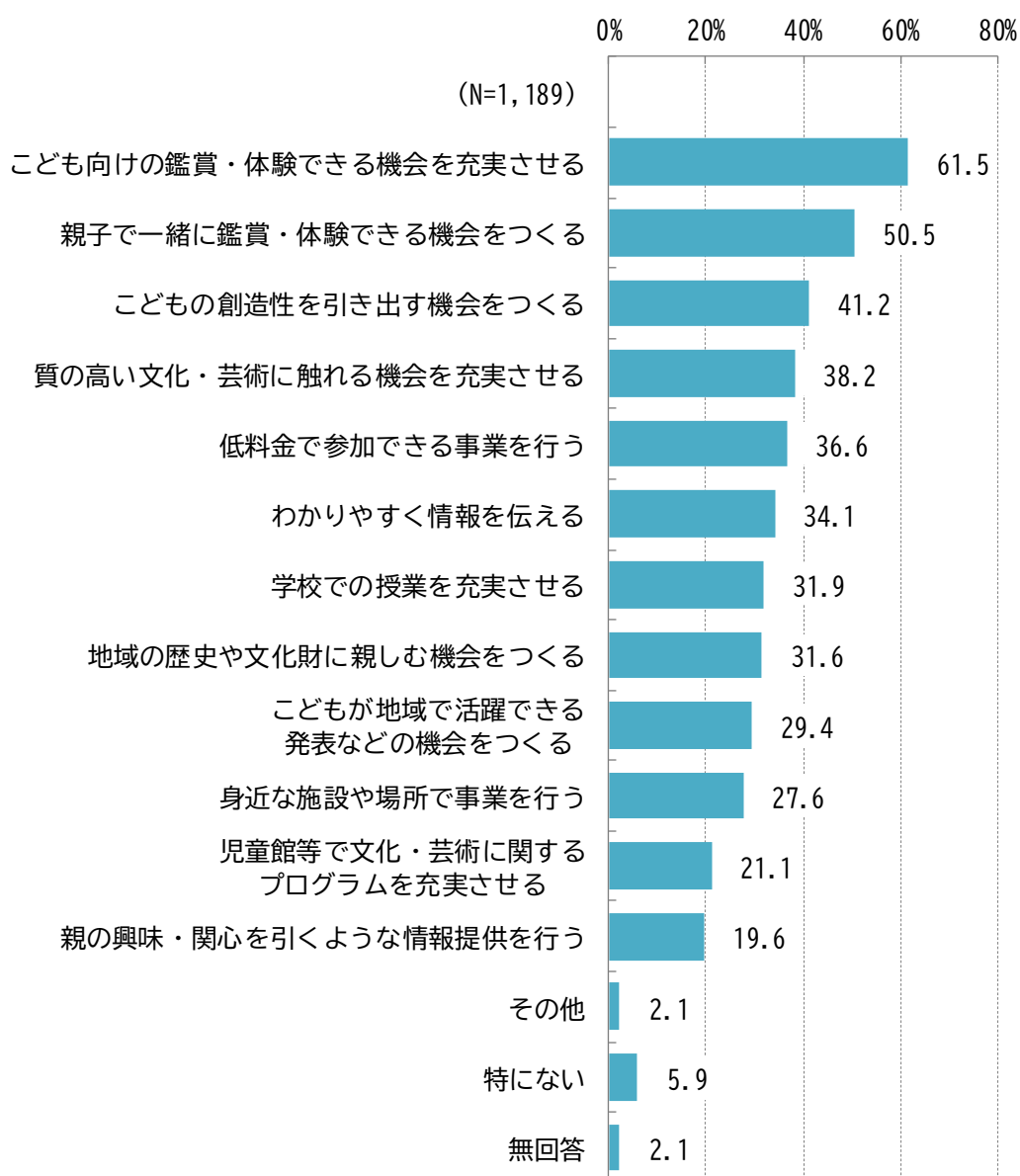
【区が文化・芸術施策に力を入れることで、人やまち、地域に期待する変化】



- 「こどもの心の豊かさや創造性が伸びる」が48.6%、次いで「地域に対する愛着が生まれる」が45.9%、「区民が地域の歴史・文化を知る」が43.2%、「地域コミュニティが活発になる」が43.0%となっています。
- 年代別にみると、「こどもの心の豊かさや創造性が伸びる」では30歳代、40歳代、「多様な価値観があることに気づく」では29歳以下と40歳代、「まちのイメージがよくなる」では40歳代、50歳代でやや高くなっています。

区にはこども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させることが期待されている

【こどもが文化・芸術にもっと親しむようになるために、大田区期待する取り組み】



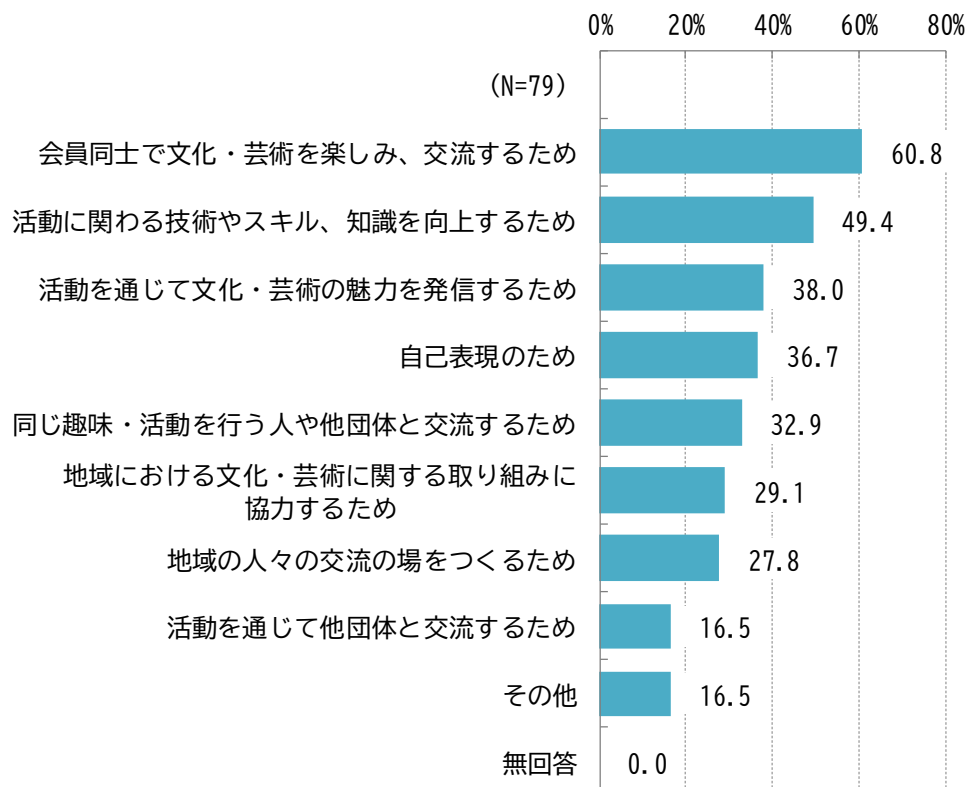
- 「こども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させる」が61.5%と最も多く、次いで「親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる」が50.5%、「こどもの創造性を引き出す機会をつくる」が41.2%となっています。
- 年代別にみると、子育て世代である30歳代、40歳代で「こども向けの鑑賞・体験できる機会を充実させる」、「親子で一緒に鑑賞・体験できる機会をつくる」が高くなっています。

団体向け調査

■現在の活動や今後の展望

活動目的「会員同士で文化・芸術を楽しみ、交流するため」 60.8%

【団体の活動目的】

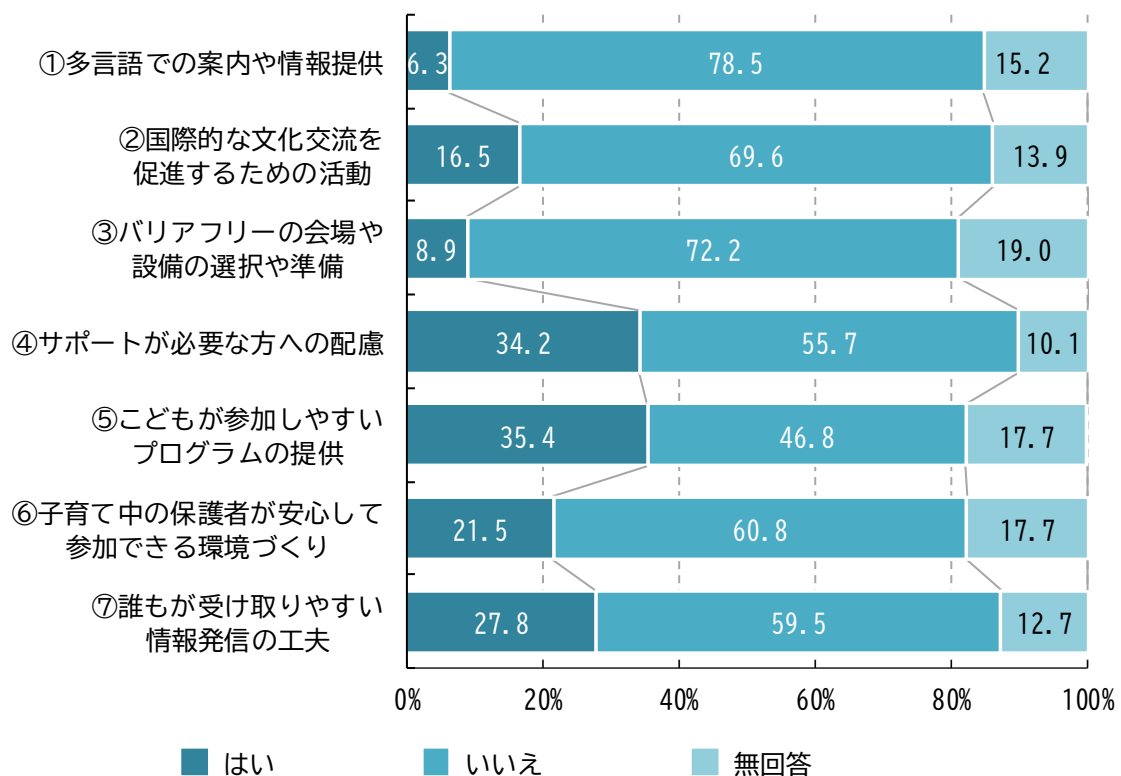


- 「会員同士で文化・芸術を楽しみ、交流するため」が60.8%と最も多く、次いで「活動に関わる技術やスキル、知識を向上するため」が49.4%、「活動を通じて文化・芸術の魅力を発信するため」が38.0%となっています。
- 団体の活動が区民やまちにもたらす効果としては、活動目的に関わらず、「高齢者の生きがいににつながる」が最も多く、「地域コミュニティが活発になる」が続きます。

「こどもが参加しやすいプログラムの提供」を行う団体 35.4%

【日常の活動や発表を行う際に行う取り組み】

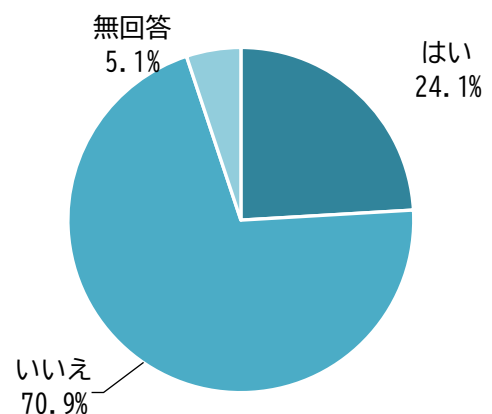
(N=79)



●「こどもが参加しやすいプログラムの提供」(35.4%)、「サポートが必要な方への配慮」(34.2%)、「誰もが受け取りやすい情報発信の工夫」(27.8%)が一定数実施されている一方で、「多言語での案内や情報提供」(6.3%)、「バリアフリーの会場や設備の選択や準備」(8.9%)は1割未満と少なくなっています。

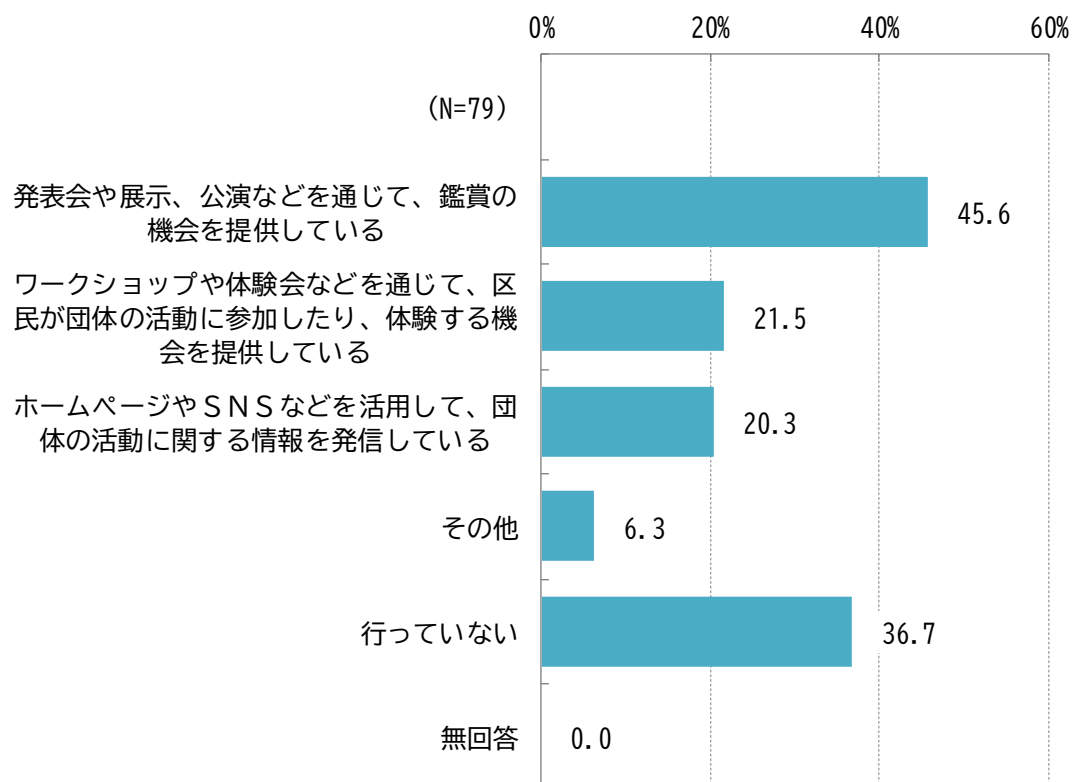
他の団体(企業・施設)や他ジャンルと連携した取り組みを行う団体 24.1%

●他の団体(企業・施設)や他ジャンルと連携した (N=79)
取り組みを実施している団体は、24.1%となっています。



発表会や展示、公演などを通じて鑑賞の機会を提供している団体 36.7%

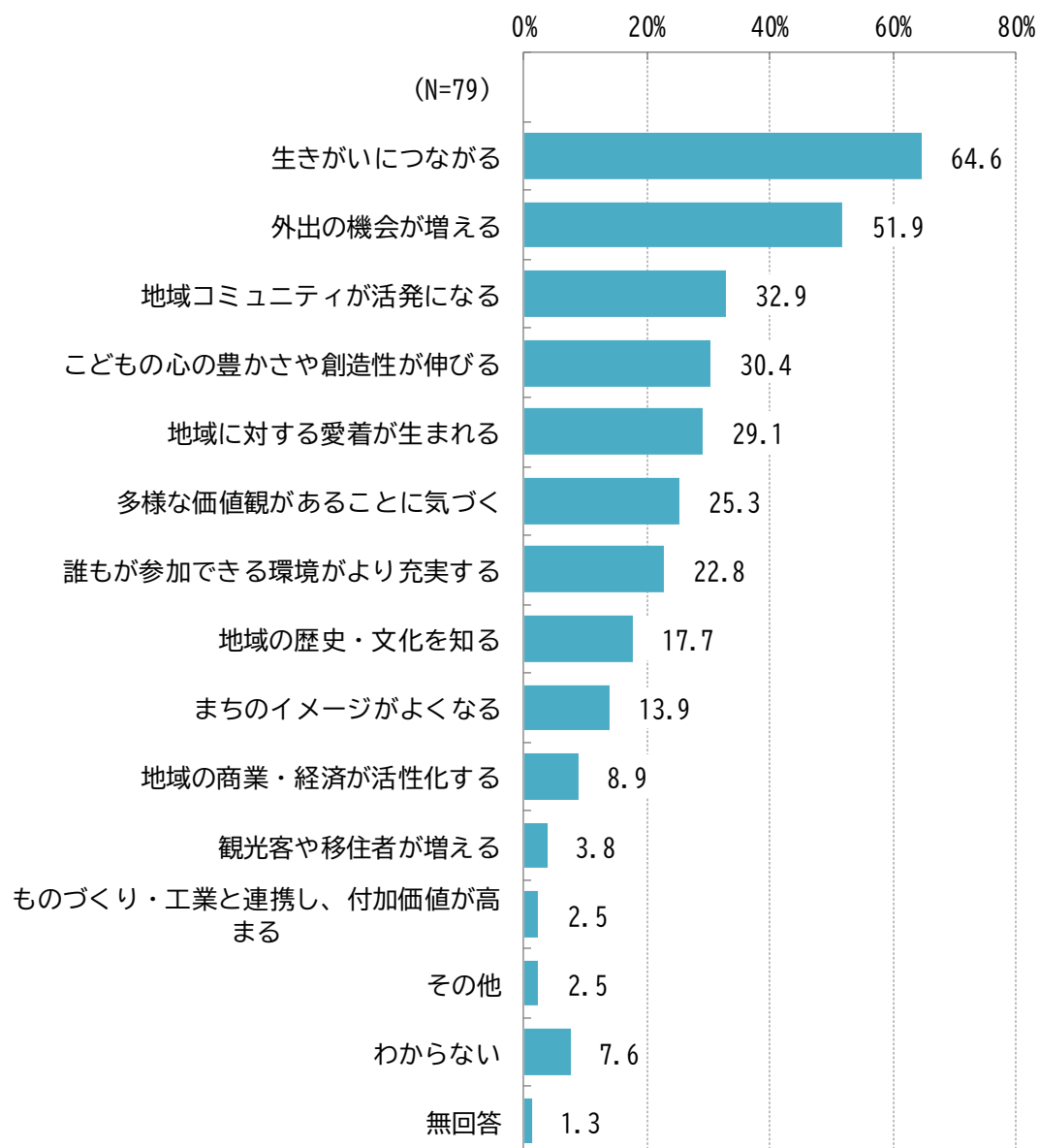
【区民に向けた活動】



●「発表会や展示、公演などを通じて、鑑賞の機会を提供している」が45.6%と最も多く、次いで「行っていない」が36.7%、「ワークショップや体験会などを通じて、区民が団体の活動に参加したり、体験する機会を提供している」が21.5%となっています。

区の文化振興が「生きがいにつながる」と考えている団体 64.6%

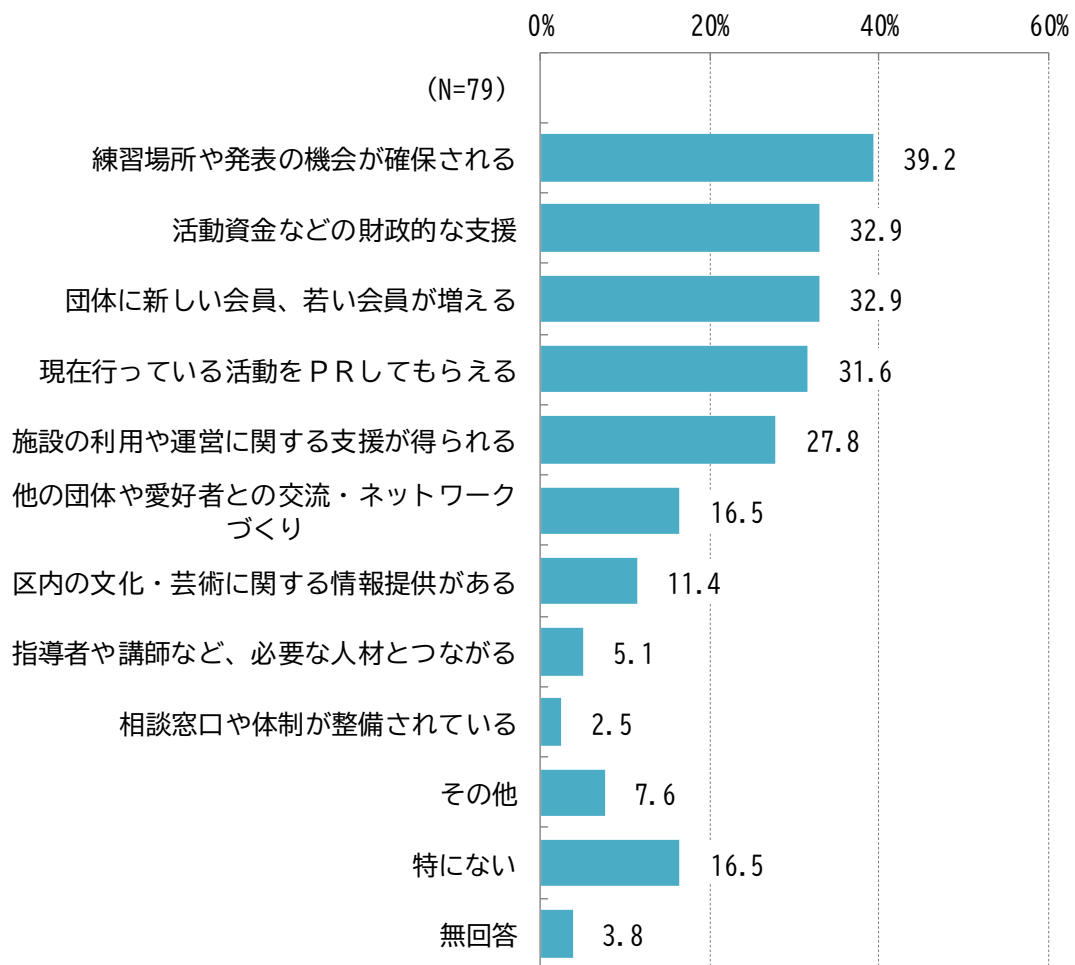
【活動が大田区の文化振興として、人やまち、地域に対してどのような変化をもたらすか】



●活動が大田区の文化振興として、人やまち、地域に対してどのような変化をもたらすかについて、「生きがいにつながる」が64.6%と最も多く、次いで「外出の機会が増える」が51.9%、「地域コミュニティが活発になる」が32.9%となっています。

練習場所や発表の機会が確保されることを期待する団体 39.2%

【活動のために必要な支援・施策】



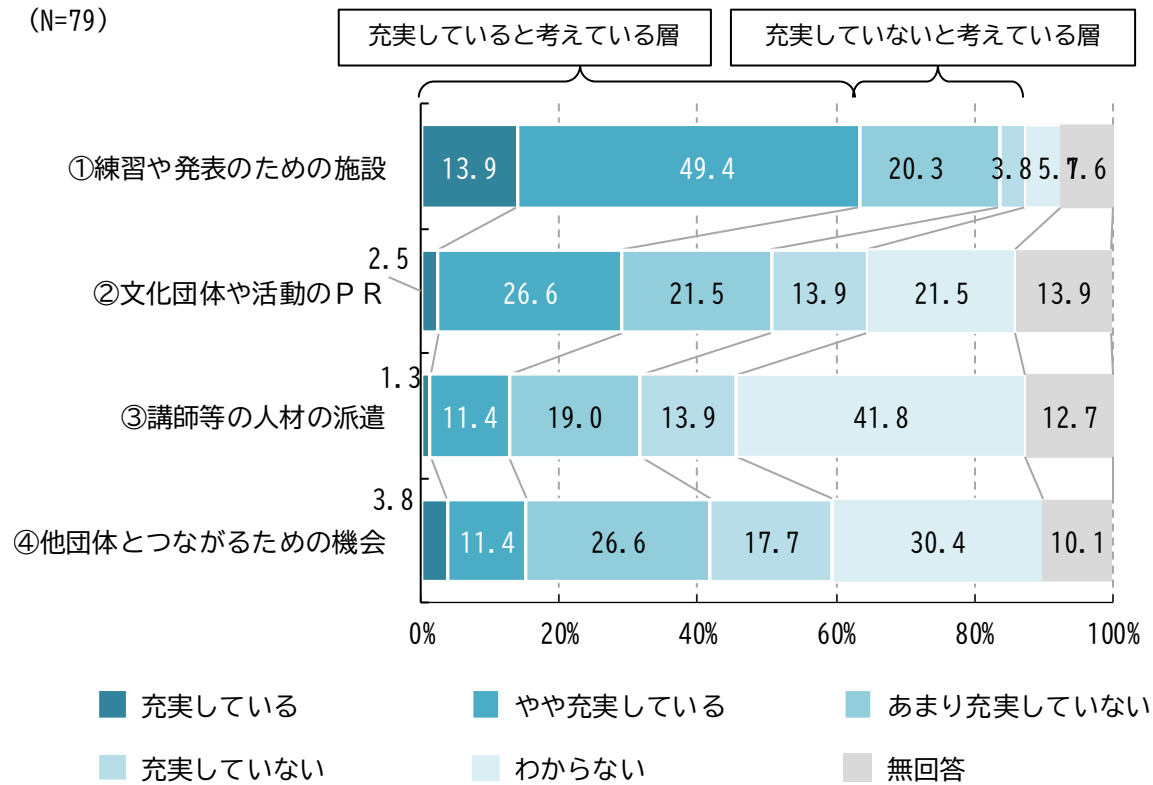
- 団体が区内でより活発に文化・芸術活動をしていくために、区に期待する支援や役割として、「練習場所や発表の機会が確保される」が39.2%と最も多く、次いで「活動資金などの財政的な支援」「団体に新しい会員、若い会員が増える」が32.9%となっています。

■区の施策の利用状況や必要とする支援

練習や発表のための施設が充実していると思う団体 63.3%

【団体が区内で文化・芸術に関する活動をする上での充実度】

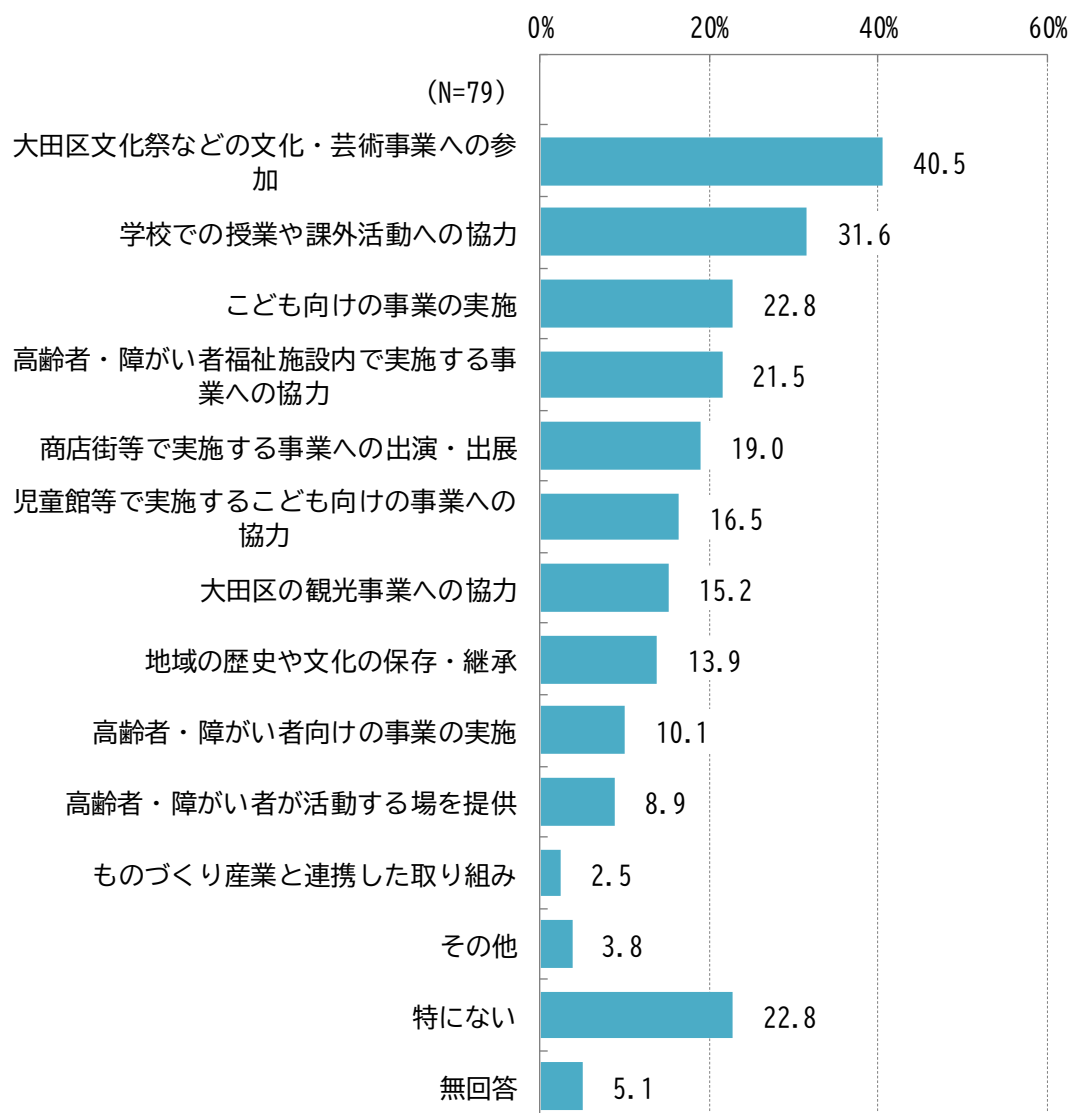
(N=79)



●団体が区内で文化・芸術に関する活動をする上での充実度について、「練習や発表のための施設」は充実していると回答した層が63.3%となっている一方で、「文化団体や活動のPR」、「講師等の人材の派遣」、「他団体とつながるための機会」はいずれも2割未満となっています。

大田区文化祭などの文化・芸術事業に参加したいと考える団体 40.5%

【大田区の文化振興として、今後活動したいこと】

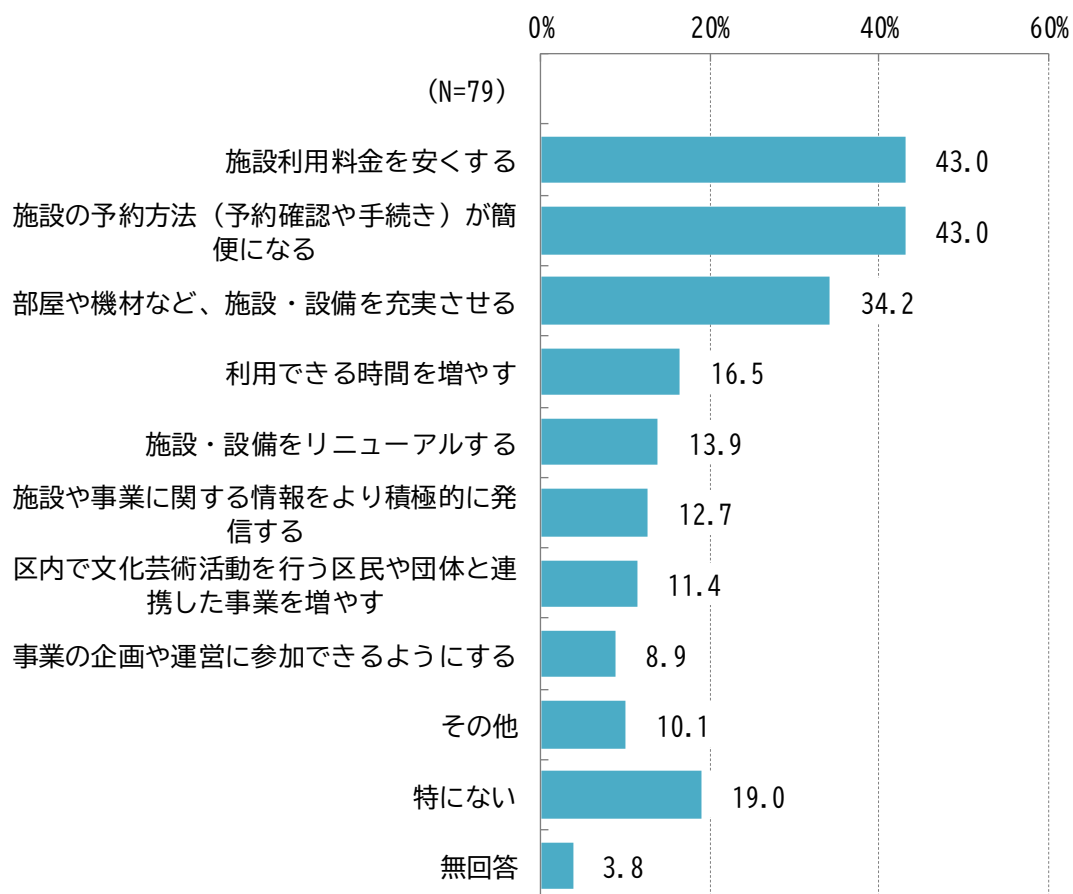


●大田区の文化振興として、今後活動したいこととして、「大田区文化祭などの文化・芸術事業への参加」が40.5%と最も多く、次いで「学校での授業や課外活動への協力」が31.6%、「特にない」が22.8%となっています。

■区の文化施設に求めること、満足度

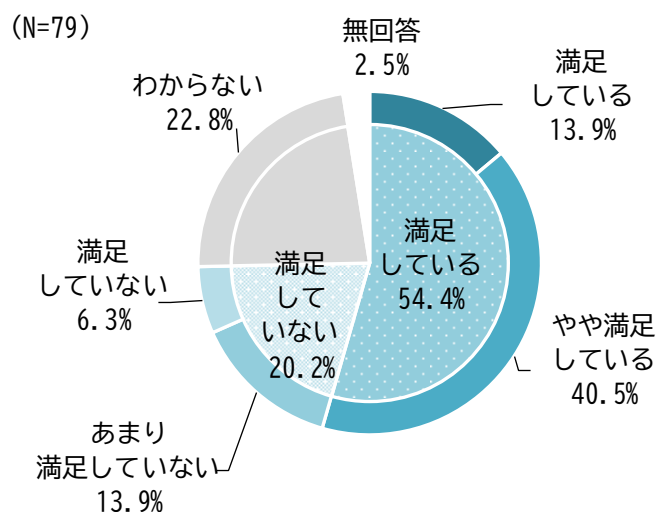
文化的な環境に満足している団体 54.4%

【区の文化施設に求めること】



● 団体が活動する上で、区の文化施設に求めることは、「施設利用料金を安くする」「施設の予約方法（予約確認や手続き）が簡便になる」が43.0%と最も多く、次いで「部屋や機材など、施設・設備を充実させる」が34.2%となっています。

【区の文化的な環境の満足度】



● 文化・芸術を鑑賞したり、活動する機会や文化資源の保存・整備など、大田区の文化的な環境の満足度について、充実していると回答した層は54.4%となっています。